ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2021年02月10日　　日経新聞掲載名：ＭＦＳ米国有

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）

■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	8,778	-425
純資産総額（百万円）	1,392	-160

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
１カ月	2026/06/30	-4.6
３カ月	2026/04/30	2.5
６カ月	2026/01/30	-1.6
１年	2025/07/31	-7.3
３年	2023/07/31	7.9
設定来	2021/02/10	-12.2

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/01/25	0
第2期	2023/01/25	0
第3期	2024/01/25	0
第4期	2025/01/27	0
第5期	2026/01/26	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.5	+0.2
マネー・ファンド	0.1	+0.0
現金等	1.4	-0.2
合計	100.0	0.0
為替ヘッジ比率	99.7	-2.9

※ 組入投資信託の正式名称は「ＭＦＳ米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジあり）（適格機関投資家専用）」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザーファンド」です。
※ 為替ヘッジ比率はＭＦＳインベストメント・マネジメント株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しており、為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	-390	+1	-391
先物等	0	0	-
為替	-19	-	-
分配金	0	-	-
その他	-16	-	-
合計	-425	+1	-391

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。
※ ＭＦＳインベストメント・マネジメント株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。
※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

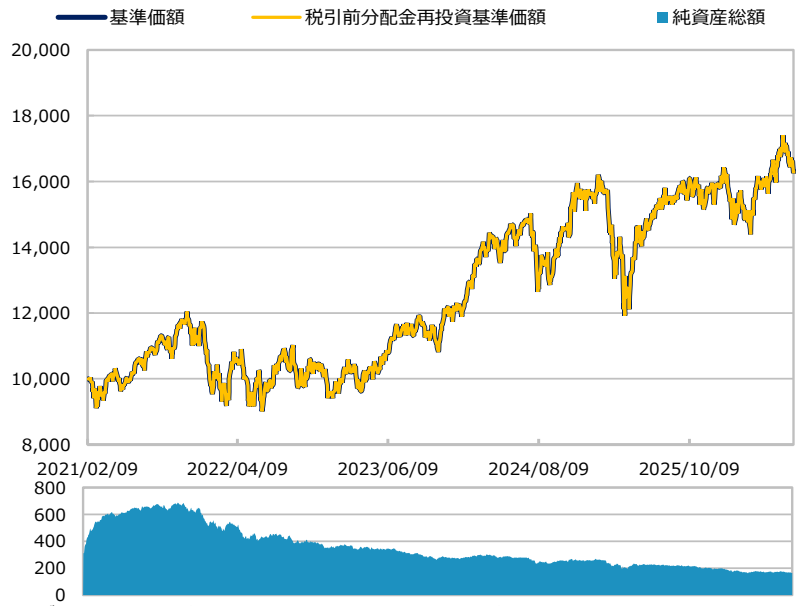
三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

ファンド設定日：2021年02月10日　　日経新聞掲載名：ＭＦＳ米国無

基準価額・純資産総額の推移（円・億円）



■ グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
■ 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額（円）	16,294	-916
純資産総額（百万円）	16,334	-1,299

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率（税引前分配金再投資）（%）

	基準日	ファンド
１カ月	2026/06/30	-5.3
３カ月	2026/04/30	3.4
６カ月	2026/01/30	4.7
１年	2025/07/31	3.4
３年	2023/07/31	41.4
設定来	2021/02/10	62.9

■ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
■ ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
■ 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績（税引前）（円）

期	決算日	分配金
第1期	2022/01/25	0
第2期	2023/01/25	0
第3期	2024/01/25	0
第4期	2025/01/27	0
第5期	2026/01/26	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
組入投資信託	98.9	-0.5
マネー・ファンド	0.0	+0.0
現金等	1.1	+0.5
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「ＭＦＳ米国中型グロース株ファンド（為替ヘッジなし）（適格機関投資家専用）」です。
※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・トラスト・マザーファンド」です。

基準価額の変動要因（円）

	計	インカム	キャピタル
株式	-733	+1	-734
先物等	0	0	-
為替	-163	-	-
分配金	0	-	-
その他	-20	-	-
合計	-916	+1	-734

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。
※ ＭＦＳインベストメント・マネジメント株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

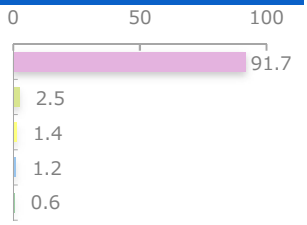
※ このページは組入投資信託が主な投資対象とする「ＭＦＳ米国中型グロース株マザーファンド」について、ＭＦＳインベストメント・マネジメント株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

資産構成比率（%）

	当月末	前月比
株式	98.0	-0.3
先物等	0.0	0.0
現金等	2.0	+0.3
合計	100.0	0.0

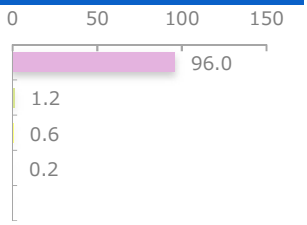
組入上位5カ国・地域（%）

		当月末	前月比
1	アメリカ	91.7	+0.2
2	デンマーク	2.5	+0.0
3	カナダ	1.4	-0.1
4	オランダ	1.2	-0.2
5	イギリス	0.6	+0.0



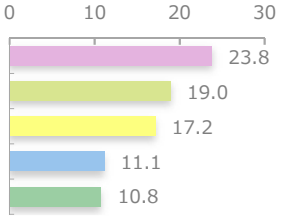
組入上位5通貨（%）

		当月末	前月比
1	アメリカドル	96.0	-0.2
2	ユーロ	1.2	-0.2
3	イギリスポンド	0.6	+0.0
4	カナダドル	0.2	-0.0



組入上位5業種（%）

		当月末	前月比
1	情報技術	23.8	-0.9
2	資本財・サービス	19.0	-2.1
3	ヘルスケア	17.2	+1.4
4	一般消費財・サービス	11.1	-0.8
5	コミュニケーション・サービス	10.8	+1.4



※ 業種はGICS（世界産業分類基準）による分類です。

組入上位10銘柄（%）　2026年06月30日現在　（組入銘柄数　112）

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	モノリシック・パワー・システムズ	アメリカ	情報技術	3.3
2	ライブ・ネーション・エンタテインメント	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.8
3	テイクツー・インタラクティブ・ソフトウエア	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.7
4	ナテラ	アメリカ	ヘルスケア	2.6
5	ハウメット・エアロスペース	アメリカ	資本財・サービス	2.6
6	アセンディス・ファーマ	デンマーク	ヘルスケア	2.4
7	ＴＫＯグループ・ホールディングス	アメリカ	コミュニケーション・サービス	2.1
8	シーゲイト・テクノロジー・ホールディングス	アメリカ	情報技術	2.1
9	クラウドフレア	アメリカ	情報技術	1.9
10	クアンタ・サービシーズ	アメリカ	資本財・サービス	1.9

※ 作成基準日の前月末時点のデータです。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て「ＭＦＳ米国中型グロース株マザーファンド」の純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

※ このページは組入投資信託が主な投資対象とする「ＭＦＳ米国中型グロース株マザーファンド」について、ＭＦＳインベストメント・マネジメント株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

＜市場動向＞

米国株式市場では、ラッセル中型株指数のパフォーマンスは大型株のS&P500インデックスと比較して小幅にアンダーパフォームしました。

米国株式市場は前月末と比較して概ね横ばいとなりました。中東情勢に対する懐疑的な見方が続くなか、原油価格上昇を受けた長期金利の上昇、韓国での反落をきっかけとした半導体関連銘柄全般の下落、AI関連市場の成長鈍化に対する警戒感などが、上値を抑えました。一方、4-6月期の企業業績が総じて堅調を維持したことが下支えとなったほか、月末近くにはマイクロソフトやアマゾン・ドット・コムが上昇し、市場全般に持ち直しました。

素材や生活必需品などの4セクターで中型株のパフォーマンスが大型株を上回りました。一方、コミュニケーション・サービスなどで中型株のパフォーマンスが大型株を下回りました。グロース株（成長株）とバリュー株（割安株）の比較では、バリュー株のパフォーマンスがグロース株を上回りました。

＜運用経過＞

当月の基準価額は下落しました。保有銘柄の株価が全体として下落したことがマイナスに寄与しました。米ドルに対して円高が進行したため為替変動もマイナスに寄与しました。

当月中は、資本財・サービス銘柄を購入した一方、別の資本財・サービス銘柄を売却しました。

月末時点において、業種別では、情報技術、資本財・サービス、ヘルスケアなどを多く組み入れています。

＜市場見通し＞

米国株式市場では、引き続きインフレや長期金利の動向が相場を左右するとみられる中、FRB（米連邦準備制度理事会）の政策運営を巡る不透明感が相場の重石となる可能性があります。一方、個人消費などを中心に国内需要は底堅さを維持しています。AI関連の設備投資も成長を支えると期待されますが、投資に見合うリターンを確保できる企業と過剰投資や利益率低下に直面する企業の見極めがより重要性になるとみています。

＜今後の運用方針＞

当ファンドでは、企業収益およびキャッシュフローの成長が長期的には株価を決定するとの信念のもと、ボトムアップで企業ファンダメンタルズ（業績、財務内容などの基礎的諸条件）を分析し、強い価格決定力を備え、クオリティの高い持続的なキャッシュフローの成長が期待できる企業群への投資を継続します。米国金融市場や経済動向などに留意しながら、MFS独自のリサーチプロセスに基づき、短期的で不安定な市場の動向に過剰反応す

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

※ このページは組入投資信託が主な投資対象とする「ＭＦＳ米国中型グロース株マザーファンド」について、ＭＦＳインベストメント・マネジメント株式会社から提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

ることなく、あくまで長期的視野に基づき、市場で企業価値が過小評価されていると判断した銘柄へ投資してまいります。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

ファンドの特色

※ 各ファンドの略称として、それぞれ以下のようにいうことがあります。
MFS米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）　：　（為替ヘッジあり）
MFS米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジなし）　：　（為替ヘッジなし）

1. 主として米国の取引所に上場している中型株式等に投資を行います。
   - 主に提供する商品・サービス等の価格決定力とフリーキャッシュフローの成長力を備えながら、市場で企業価値が過小評価されていると判断した企業の株式に投資します。
   - 中型株式とは、マサチューセッツ・ファイナンシャル・サービセズ・カンパニー（MFS）が中型と判断した企業の株式を指します。また、大型株式や米国以外の株式を保有する場合があります。

   ※不動産投資信託（リート）、預託証書（DR）等に投資する場合があります。

2. 実質的な運用は、長期運用の実績を持つマサチューセッツ・ファイナンシャル・サービセズ・カンパニー（MFS）が行います。
   - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。

3. 対円での為替ヘッジの有無により、（為替ヘッジあり）と（為替ヘッジなし）の2つのファンドからご選択いただけます。
   - （為替ヘッジあり）
     実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを活用し、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。
     ※一部の通貨については、別の通貨を用いて対円での為替ヘッジを行う場合があります。

   - （為替ヘッジなし）
     実質組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。

   ※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資者の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 運用の結果として信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。また、一定の投資成果を保証するものではありません。
- 当ファンドの主要なリスクは以下の通りです。

■ 株式市場リスク

【株価の下落は、基準価額の下落要因です】
内外の経済動向や株式市場での需給動向等の影響により株式相場が下落した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、個々の株式の価格はその発行企業の事業活動や財務状況等によって変動し、株価が下落した場合はファンドの基準価額が下落する要因となります。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

投資リスク

■ 信用リスク

【債務不履行の発生等は、基準価額の下落要因です】
ファンドが投資している有価証券や金融商品において債務不履行が発生あるいは懸念される場合、またはその発行体が経営不安や倒産等に陥った場合には、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 為替変動リスク

（為替ヘッジあり）
【為替ヘッジにより、円高が基準価額に与える影響は限定的です】
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けますが、原則として対円での為替ヘッジを行うため、その影響は限定的と考えられます。ただし、完全に為替変動リスクを回避することはできません。なお、円金利がヘッジ対象通貨の金利よりも低い場合、その金利差相当分のヘッジコストがかかることにご留意ください。また、需給要因等によっては金利差相当分以上にヘッジコストがかかる場合があります。

（為替ヘッジなし）
【円高は基準価額の下落要因です】
外貨建資産への投資は為替変動の影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落する（円高となる）場合、円ベースでの評価額が下落し、基準価額が下落することがあります。

■ カントリーリスク

【投資国の政治・経済等の不安定化は、基準価額の下落要因です】
海外に投資を行う場合には、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化、取引規制や税制の変更等によって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券等の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 流動性リスク

【市場規模の縮小・取引量の低下により、不利な条件での取引を余儀なくされることは、基準価額の下落要因です】
有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等に、十分な数量の売買ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

○ 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
○ 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
○ 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

● ファンドは、中型株に着目して投資するファンドであり、株式市場全体の値動きと比較して、相対的に値動きが大きくなることがあります。また、中型株の値動きが株式市場全体の値動きと異なる場合、ファンドの基準価額の値動きは、株式市場全体の値動きと異なることがあります。
● ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性、換金申込みの受付けが中止となる可能性、既に受け付けた換金申込みが取り消しとなる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性等があります。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

お申込みメモ

購入単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額

購入代金

販売会社の定める期日までにお支払いください。

換金単位

お申込みの販売会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。

信託期間

無期限（2021年2月10日設定）

決算日

毎年1月25日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。
分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。
分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。
※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

- 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
- 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に限りNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。
- 当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
- 配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

お申込不可日

以下に当たる場合には、購入・換金のお申込みを受け付けません。

- ニューヨークの取引所の休業日

スイッチング

販売会社によっては、（為替ヘッジあり）および（為替ヘッジなし）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

○ 購入時手数料
購入価額に3.30%（税抜き3.00%）を上限として、販売会社毎に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

○ 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

○ 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に年1.133%（税抜き1.03%）の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の運用管理費用（信託報酬）を含めた場合、年1.815%（税抜き1.65%）程度となります。
ただし、投資対象とする投資信託には、運用管理費用（信託報酬）のほか、その他の費用・手数料がかかります。その他の費用・手数料は運用状況等によって変動するため、事前に料率等を示すことができません。
上記の料率は、2026年2月末現在で知り得る情報に基づくものであり、今後、変更される場合があります。

○ その他の費用・手数料
以下のその他の費用・手数料について信託財産からご負担いただきます。
●監査法人等に支払われるファンドの監査費用
●有価証券の売買時に発生する売買委託手数料
●資産を外国で保管する場合の費用　　等
※上記の費用等については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

税金

分配時

所得税及び地方税　配当所得として課税　普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税　譲渡所得として課税　換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
※ 外国税額控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。
※ 受益者が確定拠出年金法に規定する資産管理機関および国民年金基金連合会等の場合は、所得税および地方税がかかりません。なお、確定拠出年金制度の加入者については、確定拠出年金の積立金の運用にかかる税制が適用されます。
※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
※ 少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合
少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」は、少額上場株式等に関する非課税制度であり、一定の額を上限として、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託等から生じる配当所得および譲渡所得が無期限で非課税となります。
ご利用になれるのは、販売会社で非課税口座を開設し、税法上の要件を満たした公募株式投資信託等を購入するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第399号 加入協会　：　一般社団法人資産運用業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ　：　https://www.smd-am.co.jp コールセンター　：　0120－88－2976　［受付時間］午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 株式会社SMBC信託銀行
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

ＭＦＳ米国中型成長株式ファンド（為替ヘッジあり）／（為替ヘッジなし）

追加型投信／海外／株式　　作成基準日：2026年07月31日

販売会社

販売会社名		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	一般社団法人資産運用業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人日本ＳＴＯ協会	備考
ＳＭＢＣ日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○	○	
株式会社ＳＢＩ証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○	
三菱ＵＦＪ　ｅスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○	
株式会社ＳＢＩ新生銀行（ＳＢＩ証券仲介）	登録金融機関	関東財務局長（登金）第10号	○			○		※1

備考欄について

※1：委託金融商品取引業者　株式会社ＳＢＩ証券

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■設定・運用

三井住友DSアセットマネジメント　Be Active.